

平成 29 年 6 月 20 日
株式会社 エイテック
代表取締役 鈴木 克宗

建設技術公開「EE東北 '17」に出展

株式会社エイテックは、『広げよう新技術つなげよう未来へ』をテーマに開催された、「EE 東北 '17」に出展いたしました。また、今年で3回目となる UAV(ドローン)競技会【総合技術部門】に、技術向上を目指しチーム「ATEC-ONE」で初参戦いたしました。出展ブースでは、UAV による 3 次元データ活用、災害現場での活用事例ほか、i-Construction を中心に、VR 体験や最新技術である UAV レーザ計測の活用事例を展示しました。大勢の皆様のご来場、ありがとうございました。

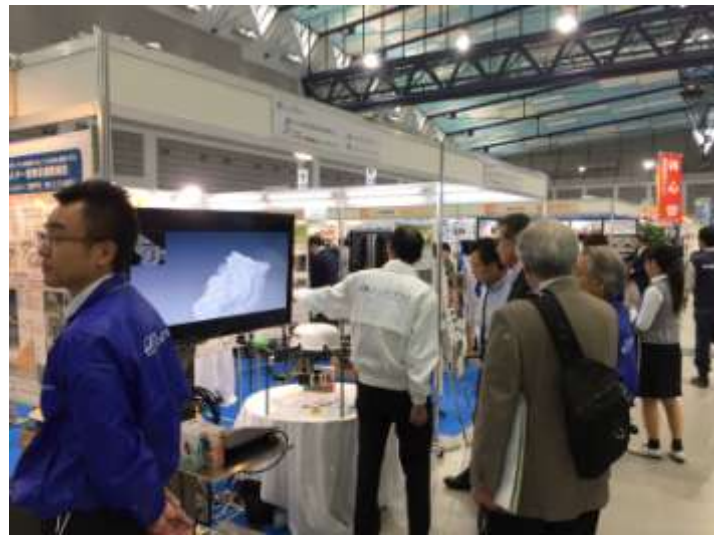
《開催概要》

主 催 : EE 東北実行委員会 (委員長/東北地方整備局企画部長)
開 催 日 時 : 2017 年 6 月 7 日 (水) ~2017 年 6 月 8 日 (木)
会 場 : みやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」屋内展示場及び屋外展示場
〒983-0001 仙台市宮城野区港 3-1-7

【UAV 競技会】



【出展ブース】



【出展パネル】

UAVレーザ計測の紹介
—I-Constructionにおける3次元データ構築への活用—

UAVレーザ計測は、従来のカメラ計測では困難であった樹木下を正確に計測可能で、計測した点群データより任意の縦横断面図や等高線図なども作成可能という特徴があり、I-Constructionにおいて非常に有効なアイテムとなります。

UAVレーザによる山地部3次元計測

- ポイント1: 低高度(約50メートル)による計測で、高精度な3次元データが可能
- ポイント2: 広範囲の計測により、工期短縮、コスト削減が可能
- ポイント3: 3次元データで施工イメージを再現、迅速な合意形成が可能
- ポイント4: 手軽で高精度のため、さまざまな分野において幅広く利用が可能



株式会社 エイテック
Advanced Technology Public Company Ltd.

株式会社 ACKグループ
ACK

UAVと地上レーザスキャナーの併用活用
—島まるごと3次元デジタル化—

エイテックでは、名前に指定された雄鷹市の島(まがき)島を上からUAV計測、地上からは地上レーザスキャナー計測することにより、島をまるごと3次元デジタル化いたしました。

地上レーザスキャナー、UAVによる3次元地形計測



株式会社 エイテック
Advanced Technology Public Company Ltd.

株式会社 ACKグループ
ACK

UAVの活用
—災害時における3次元データの活用—

UAVの低高度撮影にて、より詳細に被害状況の把握を可能にします。オルソデータ・3次元データにより災害査定が円滑化し台風10号復旧設計の測量では生産効率が大幅に向上しました。

UAVによる迅速な実施設計の実現



株式会社 エイテック
Advanced Technology Public Company Ltd.

株式会社 ACKグループ
ACK

VR技術の活用
津波シェルターの避難シミュレータ

エイテックではVR(バーチャルリアリティ)技術で津波シェルター(高知県高戸市)の避難シミュレータを開発いたしました。緊急時を想定した訓練が出来、現地疑似体験が出来ます。

シミュレータ全容



避難ミッション



株式会社 エイテック
Advanced Technology Public Company Ltd.

株式会社 ACKグループ
ACK

以上

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社エイテック

TEL: 022-706-1240 FAX: 022-706-1241

URL: <http://www.kk-atec.jp/>

東北支店 片岡、吉見